は一に馬に依るのであります。ましては所願協船北馬の字義としては所願協船北馬の字義

てしまひましたね」
さら無理から言はれると、悪

飲み節してしまつた。

能に寄りかるつて、飲みかけ

野子はさら動つてやつと薬

英一は何だか自分自身が不思い

て、東子のからいつた指数に魅惑 のうちだんといいつて来るにつ

な心臓にあるもの」やうに鮮つて

いやあよっそんなに飲ましちや

「え」、るるなら続すわ」

える、ほんとにあるからな

きつとなり

はむしろ実体な獅子です

であ聞はないや。

こんないも悪一には、ほの難で

川賀品安護

「あら、髪が飾れるぢゃありませ

『ひどいわ、あたし

のは一つの風情であ

時には樂島が卓線の食料さな 他力の補助者さして此大原野 地力の補助者さして此大原野 地力の補助者さして此大原野

編集の馬は元末アラピアカ 版は相同しさの説を承ります 族は相同しさの説を承ります 大陸の奥部で高原相組し其間 に馬群が連續存在する點から

騎 兵 大 佐 衛州風軍政部順問

政に就て

馬の身体を隣の化製利用も利力である。馬の外体を関の、馬の活動個域は膨大なものでありませう。其他

元本西伯利に於ける産種の侵 中には一度試 みられたりさ 中には一度試 みられたりさ

し一部の實行に努めて居らを育して隣崇馬の改良を書

液がそう襞の際ではないであ すから西伯利馬も北瀬馬も血

体案が精せられてるたが去る 東拓の積極的推測進出は昨年

をは同新泉支店長は渡邊現職 さなつてるる 各方間から関待されてるる。 さ共に内容の充實を行ふこさ 後出を行ふこことなり今後東 洲最高駐在員が集務近く建築

大藏省查定方針

本年度豫算標準に决す

増税問題更に擡頭

事業資金の開要が多くなる ものであるが勝來化の低金 ものであるが勝來化の低金

法をごるこさるなり

〔東京廿日龍棚藩〕明年唐禄 | 算編成に繰する大蔵省

刊

中谷時は

宜师

新債二億五千萬圓 0

本格的低金利時代に處する 大蔵、日銀の協議注目 すが如きは戦に避ければを を債を再び審利率に引き戻 なれ。斯かる際度行すべき

内地紡績會社の 大手筋

さしてゐるのは往日すべき現物鏡を中心に最遠して來 内筋鏡を中心に最遠して來 内地紡績を中心に最遠して來 内

き事あらば將來の發行計畫 なら心時明規公債の相塩が なら心時明規公債の相塩が

に支険を米す事實實

東拓新京支店

設置の件認可下る

貸出利率從來の九分五厘を

ハ分八厘に低下す

の中山會社に威壓を実へて を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再 を創設しており、富士紡が再

進むに從ひ给权論

あり 東洋紡績又人絹織物、への進出計畫を具体化しつ 製絲、絹紡は元より人絹羊毛ら犬紡績さしても鐘紡が綿紡 なくして容認し得中財政確立なくして容認し得中財、財政の考慮 改正をせよさ主張して居り財政改正不可能ならば邸分

止斷行 禁酒法廢

お野田の多数を占め、ことに お野郎を間は事験止質成投票 の歴刊の多数を占め、ことに 海殿上を断行した二十一州ま 浜に製酒店寮上州の仲電人り をするこさもなつた て下さい。ま に放さなかつた。

貿易民間代表 リカへ 更にアフ

から選ばれた氏間貿易代表は「東京二十日酸認通」日本四 で見本市を開き賞様に富る事に赴き、日本商品を携へ各版を開フンポラ、隣阿和邦の各版

『融るなあ。整層表、何うか」 て「何かおやんなさいよ。勝木さん、

付でぢつと第一の職を眺んで、 就子はさう雪つて桃椒く葵一をいふんぢやないの」 ると、登山がそこにゐる そしてだんり 一郎つて ことも 忘 長野商會

爐—和洋皿—番茶器等床置物—茶椀—德利—香

•營業品目•

お芝居に

映画に

賣

店

陶器の御用は是非……

親切

三拍子揃ひの弊店へ…!!

長れたまへ

影神質に、際に触れたり手を飾った りたい心特はかりしてゐたが、そて何だか一時も早く歐つて慰めてや りして、誘惑的な媚態を見せた。 に殴って、きつと親しく泣いてる 人で程度 を思ふと 海洲最致府公和取扱 東部、大朝南新聞社**競** 東部、大朝南新聞社**競** 東京、大朝南新聞社**競**

各兩卷一切專門 ②大同號 机容總有田總專門(國安徽侯)

上北 栄養やて业に 大田 本語の 金町二丁目一番地 中介住宅時婚 有り なしますで 新教物有り

据して下さい!

英一も最初のうちは、一

なたのいから、ころにあるつ

を聞かないうちは誠さない

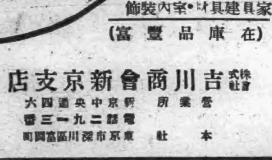
「単独ね、あなたは…

滿州丸 { 雄巫·清津出帆 } 天草丸{雄星:清津出帆

木銘板非天

材作雜板甲椽











吉

井

神中込みは世話二三〇〇番 神中込みは世話二三〇〇番 神のとのは世話二三〇〇番

サービスガー

秀浩劃

高根

いるとなったら僕だって大いに飲

女中 健康の方を強い給 電三七六六番 電三七六六番

話

在社

姓

玉を碎べ

日

日

案

女給募集

『ある。11人とも味つちまつち であるので、限つたやうに苦めなり聞かれると香山は、京子さら聞かれると香山は、京子さら聞かれると香山は、京子 実ひ アを取つた。 壁いてあつたコン

とになると

見 有 養 帝 养 專

不動產電話號

て……。あたし別数あなたを見ら、そんなに私達を縁はないが 習めたの」 京子はもう大分解つてゐる しくなつて焼き出した。 京子がさう言ふとさつきから行

ある手を振り抜さうとしたが 英一はさう買つて既く難ら 「え」、まあ兎に角との手をて食はらなんて言ひませんよ を取つに現はれて来て、香山の常想事、生 でせ立ちになつて騒ぎ始めた。そのうこゝちかおてる! だつちその土地の観者が三四 美一だけは何となく心が沈んで、れたり順られたりしたが、しかし た。何だか縁になつてるやりで観がなかつ らかねてゐたやらに筆習は、先き らったものが交る交る限は 電四八二八番 鮮 彌 并 厅 遺金 高價買入

京染洗帳専門にしまや 東]條頭0世五

御下命を一説可ララ

松井電氣商會二

電話三八五一番

値段は大勉強致します

注版簿 各種製本事門 三省堂製本所

料理 ミス 東四条通

100 宮本金三三十二段 宮本金三三 100 宮本金三三

マフテレフテル

御程來上 出田吟味堂

最上電 多量着荷致して居ります 球各種

年齢十四歳から十九歳まで毎日午前十時から午後七時まで 近日開店 新京曙町三丁目明花正門前 IJ

2 どうぞよ る 3 日京新 本 力



我等が三位一体の主義刈大將 着連、聲明書を發す 協力

(大建二十日發起通) 整刈大路は奢速後直ちに左の如き壁明を確認した

全滿の人士に告ぐ 大命を拜し故武藤元帥の後を享け玆に久しく滿洲の地を踏むに方り廣く不肖隆 大命を拜し故武藤元帥の後を享け玆に久しく滿洲の地を踏むに方り廣く

二十二月八年八和昭

帝國曩に承認を斷行し日滿議宗書に依りて兩國永遠不可分の關係を律し益々鞏固を加へ極東の黎明愈々瞭かにして軈て全滿に及ぼさんさするの惟ふに滿洲國の建國成りて既に一年有餘創業の鴻圖將に緒に就き王道立 避することなく途に國際聯盟と袂を別ち、 は本方針貫徹の爲國運を睹せんとす るの 至

粉骨碎身し敢て重責を辱しめることなきを期せんとす「傾き信頼さを直ちに移して以つて本職に至さるべく本職亦勇往以つて大任任武康元帥の行へるところを踏襲すべし全滅の人士宜しく意を安んじ故元帥腹の支援と協力とを捧げんとするにあり、此の施策經綸の大綱に至りては悉 たに移して以つて本職に至さるべく本職亦勇往以つて大任の爲なり、滿洲國亦深く帝國の態度と故元帥の至誠とに親倚し共に相俟ちて兩國の關係は將に豫期の如き進展を見つつる共に相俟ちて兩國の關係は將に豫期の如き進展を見つつる共に相俟ちて兩國の關係は將に豫期の如き進展を見つつる共に相俟ちて兩國の關係は將に豫期の如き進展を見つつる共に相俟ちて兩國の關係は將に豫期の如き進展を見つつる。 「與睦を見るに至りたるは今尚天下の耳目に新たなるところ」。

昭和八年八月二十日 陳 東 長 宮駐滿特命全權大使 関東軍司令官

陸軍大將

今郎に向つた 佛大使歸國 マルテル前駐日 一萬歲一 れ旅順長官の壁に送6

關東長官

派順の官邸に入る

テル氏は佛領シリヤ高等辯務で無法は出版の領土を表示という。

合密貴賓室に入り官氏の挨拶 を受けた後八時四十分自動車

獨逸資本

大連員。憲兵、警察官の前脳後員を伴ひ世日午前八時四十分

は、矢野大尉の指揮する重他 なし、長官は一々単手の禮を なし、長官は一々単手の禮を なし、長官は一々単手の禮を なし、長官は一々単手の禮を

九時四十五分長官々邸に入つ

成野官三十名を津田州明令官

各種工場が

ざんざん支那に出來る

この日飯順では各戸網吹を掲

菱刈大將

萬弗は英政帝國化學會社園会五千百萬銀ポその中七百 一、場子江流氓に製織所設立「硫酸立萬順」

産犯率硫ダニ十萬順、

権大使。翻東再官菱刈大器はたれた職東軍司令官。駐禰全たれた職東軍司令官。駐禰全

の加き壁の

谷參事官

【大甕廿日麓崎通】 整刈翁大使さ共に著任した谷大使館 **歩小トで菱刈大将に先立ち所京に向ふここもなつた** 参事官は、ヤマトホテルに投宿したが、二十一日午前九

台夕鳩で着京

水より大な

任備回胞を三千萬爾洲前民々(大連二十日酸城市) 五十萬

暗に堵列し三萬余に上る、菱埠町ベランがより事務府前様はは、その他版大官民各郷校生徒は、一番側より組扱玉、県無聊二氏

昨朝八時大連着

政府の態度

糖べて受身さなつて政友會の は依然さして積俸的に出でや は依然さして積俸的に出でや

審通り行はれるこさに央定し を受験首相の高権戦相訪問で筋 を受けるのは、 を受けるのは、 を受けるのは、 をできる。 をでる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をでをできる。 をでをでをできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを の政策に特に新しい物が現所に止まる権様で今後の政 は空等大した問題ではない。 を確まるものではない。要 も確まるものではない。要 するに鈴木さんの意見を充 分積取して肝膽 母照すここ が第一目的だ、 芸槻さんこ さ語つて思る

伙然消極的

さずらものご到られるに至つ さの間に於て阻嫌に協定が成 でなったので好く政府さ政友會

米の極東關心と 田外交 の方策

問題の月鼻がついた後、傍東が重業低親の完成等域内問題が重業低親の完成等域内問題 防上必要なる理由を平和手の上が要縮問題、ワシントンは 段にてアメリカ國民に印象

日米親籍に努力する方針であ

一、研州問題、その初立は事 米深通商の増進に依り承認し関して不問に付し、

一、日米仲裁人判條約に對す を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観 を関いては日米親近の観

ミは別に対議親書を期待す では、場合では、 は今更抽象的基本必須につい は今更抽象的基本必須につい のの必要もなく又

一二回の會見で協定成立言政

首相の

政圧開放もその政向であり、要胡策協定に止める撤向だが要胡策協定に止める撤向だが

市、政友の間に向は懸隔ありで、政友の間に向は懸隔あり、 土大政綱の範圍内で協定せん

重要諸案を制了。

かくて治外法権の撤

意圖を諒さして居り、二十二(東京二十日發調の) 誘策協

留り、一

殊更具体案を出し、無常の際級意を以て之に

その日ノ

あるが

考的意見の開陳を見ても精局日の開闢に於ても一二より参

理や高僧蔵伯の云ふ如き漠然 たる協定なら無意味である。 たる協定なら無意味である。

儼さして動かざる我が對領方 三位一体の主菱刈大將管連。

針や堅し

國策協定に就き

怒よ二十三日曾見

鈴木總

裁

協定不成立を慮り

國策大綱には觸れぬ模様

立するもので観でゐる
での協定なら大體支際なく成れの是なりすで信ずら範圍内 を率けるか否かに就き疑念を 協定が成立しても實際的効果 慢く者がないでもないが積極

隠取、二十四日會見するが 闘京を求め若槻氏は 一十二日

國策協定に曙光 無任所の代りに國策審議會

0、福府方面にも調策協定政 若規用総裁をして入開せしめ

一枝枝木 して調整者 ・ は用業機裁のみならず ・ 安端國民同盟機裁をも委員さ して首相の諮問機關たらしめ んさするさの鋭もある 北螺管理局土川課長クジテラ をはハルビンに於る監事會及 び領事會の全体質額の狀況及 び領事自の全体質額の状況及 び領事は関の全体質額の状況及 に通路し併せて調ツ會商の経 に通路し併せて調ツ會商の経 をハルビンソ職側に連絡す

本機載の「・「東京二十一日軽幅額」 國策 的炭漿協定 下りまでは顕像協定で無任所 的なさしめる益さ具体化する 安達總裁も委員に 困難なりを結婚第二段の策さ 用客間書が投資される

一意向一

れて居ら模様である。然し身 問題は解消せざるものき観ら

を洩したが西園寺参其の他幹は今春宮内大臣更迭の驃騈郡 方面からの切なる態

自己の事公の至誠が稍々もす 又使世上に云々されてゐるさ 職開始以來內府の更迭問題が

近に至り軍法會領に於る五、 後の御奉及の決定を以て引権 後の御奉及の決定を以て引権

牧野內府 意を固

官汚澤前外相等の見途りを受官に任命されたので世日午後

フ駐日大使後任

デルクゼン

現駐リ大使

を痛感し、同時に右の軍法会も軍部の一部には枚野内府にも軍部の一部には枚野内府に

ゲルクゼン氏は十九日フォン後任さして現駐ソ大使フォン

駐日大使フォレ

絹製洋服米 人に初見參

政府、

三者同意向に

協定成立と政府樂觀

曾は種々の絹布特に男子洋服

の布閣を用ひし作つた学服がの品評官が着されたが、日本の品評官が着されたが、日本田のものを正式に米人に紹介

く後任の選定に頃を悩してる

糸デーを催し、日本中央富糸 参の 世紀大博覧會 は日本生 参の 世紀大博覧會 は日本生

うちにお食ひしてお話する

球に公表されてゐるので鈴 な、 特別さんの意見は新聞 でも拜見した面り極めて明 のでも発見した面り極めて明

の根本的財策を樹てるので さればお互に國家について やればお互に國家について 心配し合つてゐるこさは関 でなのださ思ふから世間で しなのださ思ふから世間で

単語一致してやらねばなら 前し合ふのではなく此の

帯蔵さ話し合が出來た上で 開蔵さ話し合が出來た上で にならないさ思ふ、その代にならないさ思ふ、その代

▲銀塊及爲替 元片六分

七五三一土十現 月月月月月月 吸限限限。長殿

▲廣瀬中特(第○○個号)二十日午後三時三十五分來京 人米田貴家院廳員二十日午後七時五十分來京 → 大田貴家院廳員二十日午後七時五十分來京 → 衛本少將(闽闽東軍憲兵廠 司令官)二十一日午前九時 大豆十一月限 答 11黑0 同缝大大 大件對砂票 现大件副金票 對金票 對金票 高大特 新新報彙 十一 10% 10% 10% 10% 10% 新新新▲新 同短 三記 三記 三記 三記 新京市况 樂 四量 四車 豆 二豐芸 六車 產 現 物 出來話 印。 からいる

雇

北鐵土地課長

渡邊 秀 一

おい悪子を安心さて

うチョコノ

(東京廿日藏國禮) 败友首脳 若槻總裁も は密線機跳、鈴木機裁の 廿四日首相と會見

すぎぬミ語つて居る

職は現内閣の成立以來この考 り縄策協定に賛成だ。 尤も我 へで政府援助をなし來つたに

銀行理事 ツ聯國立

体

門委員に任命 北鐵交涉財政專 本日間教育會園七十五名二十一日午前八時四十分ハンビー ・ 日午前八時四十分ハンビー ・ 一日午前八時四十分ハンビー ・ 一日午後三時三十五分平 ・ 一日午後三時三十五分平

經濟欄

昭和八年八年二十1日 展教シ候ニ付今後弊店トへ何等關係 無之 展教シ候ニ付今後弊店トへ何等關係 無之

店主

買くる店

出様では 紛糾せん 第一回會見

非常時に背くもの

先一<u>二</u>二十九當 月月月月月 限限限限限限限

各地市場

専桁の影響のみは決してない東桁の貸出利率低下、低金利

異な對補方針を語るもの

大阪三品

豆伊東の若槻總裁に打咕し、中込むり次単松田總務より伊申込むり次単松田總務より伊東京二十日健認師)民政黨

派派派

元軍司令部の

雇員

藝妓と驅落ち

金故に逢瀬も思ふ儘ならず

八和

のぶ襲しい連瀬を重ねて居た 然し金故に身の自由を縛らて 然し金故に身の自由を縛らて をのより何にせん選に最後の 手段に訴へ逃走したのである 十七日安藤は仲弟に對し自分 は内地に開れば身受位の金は 聚く得ひつめ来は夫婦で結 同記安藤は約二ヶ月前より

日

製氷會社は

本年中完成か

須鎗氏ら近く來京

軍用犬共進會

來る二十六、

七日端博で開催

「本語のでは、 の本ける三十余名の肥陂圏は 大槍模棒西方二十安里楊家崗 子に於て同地自蜥蜴二十名を 大槍模棒西方二十安里楊家崗 大槍模棒西方二十安里楊家崗

方に匪賊

年度で打切りさなり且つ政府時島匡欽事業は原則さして九

中京遂に勝

二年連續優勝

して事業途行に努めて居るがク年に總額二千百萬國を計上

大榆樹驛西

大連及沙河口驛行住復

中で、操版本社での交渉が未たいで無り當の須輸氏は近日で、操版本社での交渉が未

一方一回 の説解を求ったから領館はの奔走によって同問題も案外早く片付くで

東る八月二十大。七兩日を明し大連議博會場内に於て社園 法人備洲軍用犬協會主種の下 に第一回編洲軍用犬協會主種の下 に第一回編洲軍用犬協會主種の下 の最は頭銀では右出陳人並に るのは頭銀では右出陳人並に るのは頭銀では右出陳人並に

日より三十日まで 瀬中外融質の

7

数事業の性質を加味するを失業救債融急事業は時島区

(甲子園廿日最過頭至急報)

し従来の失業紋問題

京勝ち、中京途に三年連續優別中等事校優勝野球大台決時戦平安中事制中京商業は本時報で安中事制中京商業は本

追悼會

小事校で奉行同郷の士初め各明二十二日午後四時から室町

方面の意列を希望するさ

江縣参事館中川静氏の追悼官

川參事官

で平安惜敗

時に四時六分

る最後を挙げた約黒側江省體院証拠の襲撃をうけ壯烈な

出發

橋本少將

室町小學校で **廿二日午後四時**

四、割引率二、三等住復二

集金横領逃走

學生聯盟に刺激され

0

勃興

新京神社内で毎日猛練習

内務省社會局で

失業

對策考究

まづ四平街軍と一

定運賃の五割をするに運賃の五割引率の定運賃の五割引率の定運賃の五割引

会科生活者の失業防止さ、そ 幹を爲すべき日傭労働者小顧 学を爲すべき日傭労働者小顧

地関変を貸すに決定した場所を派遣して懸念事業の實際性を派遣して懸念事業の實際性を求め金銭的に監督を派遣して懸念事業の實際は近く環境を表示した。

の教育に努力し七。八、九。三給料生活者の失業防止さ、そ

田本橋通市場内鮮魚商和田洋 では直に手配目下犯人 ・大面に逃走したので新京署 ・大面に逃走したので新京署 ・大面に逃走したので新京署 ・大面に逃走したので新京署 は、果然の提供をは、までは、は、大学 十名が毎日午後四時から新京の相撲界に異常なる刺紋を 智つじけてゐる。なは來月三 奥へ、果然の授勲は最近領に 台を行ふべく準備中で十日ま のの相撲界に異常なる刺紋を 智つじけてゐる。なは來月三 四 神社境内で火の出るやりな練 三 に資することとし、目下約二

お判断されてゐるが心中の忌 も判断されてゐるが心中の忌 れあり模主は 久丸を大切にして居て見れさ 一極度一品気なは 或は死出の旅へ 成は内地方

で二回目である。 を繋行不良の気約一ク月報証 で二回目である

午後は一時より六時辺縣綾會 おも點より否決さなつた おもいとなった。 教発 超書(安集競響)を司法機関で 発案は投降者の所持する自断 発案は投降者の所持する自断

一、、衆理司法設止の件 二、司法公所改組の件 三、各級法院母設の件 された案について関系討議を 行つた 中學校敎科書 統制研究 文部省で

では中郷校女縣校、農工商業 學校なご各種中等県校教科書 の全部を小県校の如く認定又 は準観定にし、女部省で発行 するか女部監督の下に編纂せ しむらか鉄れかの制度に改正 その結果定置も高いのみならず販賞者で無校長、教授さの間にいまはしい展開さへ度を関値下けするこで、及び以上の加き展開を一掃するために右の如き製剤を一掃するために右の如き製剤を一掃するために右の如き教科書の認定。且は心臓にを重要意義あるもので、これが實現せば中等教育の統一の上にも重要意義あるもので、これが實現せば中等教育の統一の上にも重要意義あるものである。 甲か6多額の宣信費を要して種の多数に上り、而も販賞競

加し現在英語だけで百二十数だが最近檢定申請が俄かに増

人紡績現勢

各學校の使用に要せて活るの情で自由に編纂しその使用は現在の中等學校教科書は支部

明在華。在湖邦人紡績の現勢(東京仕日饒超過)紡績聯合

數百八十余萬

太平洋圓卓會議

人口問題で

支那側、

滿洲移民を椅出す

がき聞いたが井上がこれに對 して答へねので

七章四

植公金枝

種々討勝されたが。日支幣機

を獲め度いから、メモを鉛 学系後四、三〇 時事解説 筆を使用されては如何か 選 後五、〇〇 時事解説 筆を使用されては如何か 選 後五、〇〇 時事解説 第一次では大進步だが残 東京使大、〇〇 ユュース 原京中央政送局編輯 東京中央政送局編輯 開語 (福州語) 東京 (福州語) 東京 (福州語) 東京 (福州語) 東京 (福州語) 東京 (福州語) 東京 (本州語) 東京 (本和語) 東京 (本州語) 東京 (本和語) 東京 (本和語) 東京 (本和語) 東京 (本和

東京中央政法局を制作する。

策を建直す

北洋漁業政

得した北洋漁業櫃確保のため は10日 ツ漁業係約改町明を控 では昭和十一年に は10日 ツ漁業係約改町明を控 では昭和十一年に が農林省では昭和十一年に が開かるでは昭和十一年に が開かる。

せざる限り

演奏會

神女道尺八

一、市内ニ確實ナル保證人一名ヲ有スルー、思想穩健身体强壯ニシテ奮闘ニ堪へ一、專問學校卒業程度ノ教養アル青年

商工調査及經濟記事ニ自信ラ有ス

員

会議場を数一大、八〇〇種 議場を数一次、八〇〇種 議場を数一四〇、四九大 建数一四〇、四九大 機造を数一二、一〇〇種

に されず支那人移民が政治運動 に されず支那人移民が政治運動

経工業問題に 経工業問題に

口間頓が再び話組さなり、日記を制定し通貨の安定を闢るまた、更に人意を制定し通貨の安定を闢る

酒卷裁判長 2 3

(東京二十日税認当) 血盟事件は井上日召等被告十一名が 裁判長潤器貞一郎氏を始め陪 下されるや、東京控訴院に抗 下されるや、東京控訴院に抗

が雷局の態度は注目されてる を考究中で、結局・順漁業の統 一を留るものき即られてるる

改訂を機會に

裁判の進行方法に 日召の意見を求む

を訪問して裁判を付けるさせ ・ 株裁判長は抗音の事は暫く借 ・ 総裁判長は抗音の事は暫く借 ・ のま見を求め拒絶された ・ を裁判長は抗音の事は暫く借

州移氏は大体容闘されるで信

本月三十日立二面會の時期知る希望者の人北ノ書類フ本月二十一、希望條件記入書一、一、希望條件記入書

本月二十五日 五二 雪所宛野遊ノ事

二十三1日午後七時から湯暖社二十三1日午後七時から湯暖社 資者は神知道師、坂野女延師 その他で尺八井上師社中、三 をの他で尺八井上師社中、三 をの他で尺八井上師社中、三 をの他で尺八井上師社中、三 をの他で尺八井上師社中、三 をの他で尺八井上師社中、三

新京與信公所

傷病兵來京

設

廣

の節

十名は二十一日午後三時二十五分 五分析京衛史病院にて療養の 5二十一日午後三時二十五分 開設致し一般需要に可應候間御入用 今般滿洲國國都建設局指定地に煉瓦工場

東マルニ(戦の杯を集けれ福し。 の就任被姦裏は二十月午後六の検渉を見玉側社長邦摩し之 の検渉を見玉側社長邦摩し之 の検渉を見玉側社長邦摩し之 でかって参議府 でかって参議府 は多少に不拘御用命被下度候 事務所 永樂町三丁目廿一ノ三(日本山寺裏)

取次所 東省窯業事務所 安新 電話二二四四番

御會葬御禮 金 次

花を名料亭撲披の美妓モナモた各種の卓擬店を開き替代開

こ今で自卓倉相管み変く即通知に代へ議告仕り候を滲げられ候につき二十二日午後四時新京室町小學校治工作を了へての歸途匪賊の襲撃を受け壯烈なる殉職縣人龍江縣参事官中川勝氏去る十三日富拉編基より政

福

政 潴

品 豐 富 完 備

乜

新京大馬路 應ジマ

電話

遠近多少二不拘迅速御用命二

(日)

に大日間に且る第二回全調司り大山法務部長の挨拶あり交 に機場を設けて囚邸に機場を設けて囚 昨日の開

中別大改正に伴ひ必然的に貨物列車の運輸時刻改正に伴ひ必然的に貨 物列車の運輸時刻改正の必要

を述べ。連日に且る諸員の熱 快し午館十一時鴻總長閉會辭 に終て關實方の三溪を養顕可

祭職で近く合語の上で决定も司法部最高法院、最高檢り司法部最高法院、最高檢 選貨の割引を火の規定により 建市借端端大博覧者々場内に 連市借端端大博覧者々場内に 人及出陳犬に耐し、端蔵では 人及出陳犬に耐し、端蔵では 人及出陳犬に耐し、端蔵では

貨物列車も 時間の大改正 旅客車の改正につれ を中前大時州五分智にしたのみで漁は全部等れられた を中前大時州五分智にしたのみで漁は季節の株別では、 たかこの結果斯京職道事務 四十分智第四十一列車(大連 でのみで漁は全部等れられた するこさ。なつか

(ハルビン世日酸製油) ハルビンでは多いでは、ハルビン世日酸製油 ハルビン に避難して 東たが、同妻女エンナはハバレフスタを脱走し黒河を様で消む「ハルビン」が 東たが、同妻女エンナはハバレフスタの近元について語る ハパロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を ファイロフスタでは労働者を

ルーブルでそのパンを検取し ので値切つてゐる矢先に他の ので値切つてゐる矢先に他の 一人が來て有無を云はず、百

で主さして職業紹介等に力で適切な方法を考慮するので適切な方法を考慮するの

空湖司法會開最終日たる第六

終る

金滿司

法會議

参加者に

二、割引期間 出陳への場合 連沙河口輝相互間 吐原各縁さ大

有して居る。内相

中京2000001 中京2000001 が、その一部は阪路より廻航 して来たものでゐる、最近で は超船も武装するやうになつ

極東赤軍司令官

流血のパン争奪戦等

口は九萬足らずである。アム 地方へ追つ拂はれ、現在の人 旅券改正さ共に約三萬人は他 旅券改正さ共に約三萬人は他

に鋭意努力してゐるが、まだしてゐる、火事で続けて

事件が別々さして惹起してる 特抗等の目的で貨物列車調整 性に乗じ食料快乏の結果。食

だ完成さ

れずハパロフスタ

▲出陳犬

列車運賃割引

て申請があり、解釋の統一に對して法令の解釋につい 部並に最高法院最高檢察賦

中壁落塔樂者の惨光椿事がある。
を表堂のコックをして唐を、竹本変換を行はれてゐる。自動の変換を行はれてゐる。自動の変換を行ばれてゐる。自動の変換を受換を受ける。 去る七月中二十六回練習飛行大飛行場が建設されてあるが く兄もだまら程題な氏から、ゲ、ペ、ウの債券振りは言 新うした甘い華やかな夢も東の間に過ぎたさいふのはクリスクに贈り事の次第を閉知したので成る日白晝往来でマグム、ブリュラヘルが突如ハパロフスクに贈り事の次第を閉知したので成る日白晝往来でマグがあして一時ハパロフスクではこの話で持切りであつた云 WHITE HEREITHE HERE 馬た 局長を命ぜられ二十三日午前 新京郵便局電信課長間東職選 明後日朝出穀 毛利前電信係長

将任地に向け出産した 常氏多数の見渋狸に家族同伴 で氏多数の見渋狸に家族同伴 を表示の見洗狸に家族同伴 出發 市川前新京局長

で多数日鍋官民の見送りを受新京窓兵司令官借本虎之助や新京窓兵司令官借本虎之助や 初京高知縣人會長

昭和八年八月二十一日

け赴任の途に上つた

瓦

四三 七九

赤衛軍が東軍司令官プリユへ輝し制助の遺任に當つて居る個限に於る護萬の赤衛軍を指

(田十)



(8-L)

聞

定價一級企当級 學 使一個人 全人共和 與政人期所用了第一部人 發行的。 新家日日新聞戲 在第三三本第三三〇〇日 發行人 十 何 然 息 組織人 仕 本 男 同期人 咎 李二郎

樹析市地豊富入精

換算率の提示 ソ側一擧譲歩は困難

心臓悪難くだけです

何等抱負さ云

課本感附に榮輔した松木中勢线し軍事工作一段落さ共に参

張黑省警備

當分正式態度表明を遷延か

護歩し安協するものと親らる。さりとて満洲側の要求する二次裂を避けるため襲に提示せる一ルーヴルー圓四錢より幾分する二十五錢に如何に回答するかに懸つてゐるが、蘇聯側は入り會議の成否は二十二日の私的交渉で蘇聯が滿洲側の提示(東京二十一日發國通)北鐵交渉は換算率と云ふ具体問題に(東京二十一日發國通) コフ氏の着京まで正式態度表明を遷延す 下げまじくロ

の兵期討伐に耕るたる武動を山討伐よの蘇納女討伐さ北端の大部伐と北端

二日のうすり

法制度

充實に向

全滿司法會議の收穫

兩將軍

廿二日離滿

★テルに役宿したが共に二十 で管連したが、松木中時は大 で管連したが、松木中時は大

日午旬十一時半線列車で大連館中の大博覧書見墨のため作品で大連に開

に向つたが新

松木、服部

少時は故場への凱旋のため二

「チテハ州壮一日發頭通」思

然河作戦に服部々縁部降長さ

司令官

お相手が無くて 調子拔けの態

紛糾の在哈北鐵會議につき 李督辨、佐藤代表語る

的外法権撤廢を目標に研究感

华正家。

日

「ハルピン仕」日報の語)

いたでを放らし投料を付けてあるハルビン比かける環中が病気のためせー日の理事が病気のためせー日の理事が病気のためせー日の不明だ、理事會は発言権はあつててるるから何時でも開けるが監事會は発言権はあつてした財産が関係でも関ける。

日

女佐藤交通部軒哈代表は語る だが緑洲間さしては大義名 だが緑洲間さしては大義名 銀子状けの態だ 類がされぬから今の遠貳に 年後七時五十分者ハトで家族使館一等書紀官より定津總領 大連世一日韓領通) 軽端大 大連着 栗原總領事

が、世日を以て大日間に亘るが、世日を以て大日間に亘るが、世日を以て大日間に亘るがよりの指示事項卅一件を番出よりの指示事項卅一件を番出た時果、治り法種愉吸の間に重るが、世日を以て大日間に亘る 権めて領重に討議が行はれた。通日會議、審査委員會を明き 司法制度を確立する第二回全 之等案件は本部並びに避方に びに関東線の裁判所、法院に理司法磨止案等の可決を見、 職員、其の傾司法官を日本並 職権選挙、 単こなつた。即も司法部に於 「検察」の検工家、司法官更新、監守の 於て可及的迷かに遂いされる

日滿電話連絡

電信電話料

日滿通信會社

有能外交官を 脱退後の聯盟監視

■ 一次文 に就てもある場となが、向日本に関係ある場とアプノール氏に力説は技術的援助に局限するやう 是正するの必要を認めランシーの「東京二十一日後観鐘」作田 府に近き歐洲諸嶋に散在せた も言へね現情なのでこれが するのみで情報も母離く意思 回動響師中であり、各地域内 のさなすべく目下交通都に器 がる程度内に於て低版なる。 を依り、新含社の採集を観さ を依り、新含社の採集を観さ を依り、新含社の採集を観さ **課重要都市に於ける日帰城話れか、新會社の設立により全たが、新會社の設立により全たが、新會社の設立により全たが、新會社の設立により全たが、新會社の設立といいません。** 並びに

十二百八千三年

聖上陛下

上陸下は朝召艦比叡で年海軍大演習野杭監の聖 小田以東南方洋上の特別

日本軍關内進出で

支那側の損害

死者五十名出すご

支那紙の報道

则七大、四〇九元

(B

鐵道建設改良

鐵相の政策に基き

九年度豫算で

き九年等豫算に於て建設改良では織相の懐く雌道政策に基

字千六百萬間を突破し顔る好きなり本年四月から現在迄の きなり本年四月から現在迄の きなり本年四月から現在迄の

鈴木氏入閣は

自滅を招かう

正するここさなつてあり、その實現は相當準備期間を要するが、現在の電政局轄下式結合が、現在の電政局轄下式結合が、現在の電政局轄下式結構を要するが、現在の電政局等では 一新京一品は西路路

滿洲國警察官

指導のために

日本人警官千名採用

立。電話連絡を聞いれる一時日開電話な

國民同盟の観測 月より湯州の野宮南導門さし、放野刀を重ね米 たが最近之

に決定し、目下追加領算職成中である、右に光常する警察官は主きして分散配置完了後の人員より採用する個である が此外日本側に於ては十月一が此外日本側に於ては十月一

るまで、間東腺並に個単値管 製官中舊恩給法の恩典に浴す るものは本人の利益を考慮し である。

(-)

て支削紙は次の如き数字を發 で支削紙は次の如き数字を設けた支削側の損害さして支削機の損害さし

一、人民の直接損失 一、人民の直接損失 一、人民の直接損失

昨任と命ぜるいち模様である。に従ひ欧州町在官の更迭をあに従ひ欧州町在官の更迭を

望定問題に現して退毛可型で 湿度協定はご米原任令大臣 【東京二十一日韓嫡曹】嗣策 は次の知多觀測を下してるる

を一願すべく若々研究を進

り種々準備を整へて匿るが、差盤の諸準備関係の完成迄の一時的辨法さして報信賦語事務は附属地日本郵便島並びに危政局に於いて從來通り取扱ひを翻行するここになつて居るが、 て政友曾の

「種極」 けんさする

政府が鈴木氏を人間せしめ問題に塩を發したもので、

日開 音亦政綱政策を公表し政友 音亦政綱政策を天下に免表 されて了つた今日用者が改 いて政策協定を貸すが切き ひば策協定さいふ名目によ

九日

個片其他魔頭に依る中毒者教 教授機器校型に属する具体案 教授機器校型に属する具体案 を作成中の典この程阿片、 を作成中の典 古林、安東、倭口、永徳、ハルピン等全議主要地に設けら. ルピン等全議主要地に設けら. のである 公安局 チチハル

下準備に忙殺されても5 管際原さなつて一般警察事務 でであることであり目 成績を事け皇軍で協力しつつで邦人の最限に多大の便宜 (島長剛允松氏)は九月一日に 終始一貫親日の深き理解を以 昨冬皇軍のテテハル入城以來 「ナチハル廿一日産昭加] 一 ハル市の秩序を完全に確

◆結城豊太郎氏(奥銀穂栽) 東京 琴本ナル~ 東京 琴本ナル~ 上、下水道ノ故障ハ

人事往來一

新京階町三丁目二十番地ノニ 市瀨工務所へ

取締の徹底 ひから喜んだものである

0

れてふこさすらわる

よてるたこさが震動の手によ むらも我等の常に苦々しく思 がらも我等の常に苦々しく思 事實際廣場は春夏秋冬苦力の 集合地さして、展入れんさする な人々さ、使はれんさする書 なん々さ、使はれんさする書 でるた。反面、なにせ苦力の こさ室町學校へ強ふ小學校兄 こさ室町學校へ強ふ小學校兄 にさつては精一以上の時所で にさつては精一以上の時所で

天津に赴任するがあの如く語目作者後、約一週間滞在の上

移動しても資料かるる間は下げる今の歳ごうやら落付

くつてるる 酸に有り騒から心風が吹きま

の飲食店さへ出来その繁長ぶ 日、未だにその除を観だざる は独角方針を決定したる以上その徹底を明すべきである 上その徹底を明すべきである を見る更に暦一層取締の徹底を見る更に暦一層取締の徹底

高等検察器を増せる司法機等 機体職員を充實し、高等法院 一派書 しのちーカ河内各所に更を観察。實

沿岸漁業に反して **冲獲りは好望** カムチャツカ漁業

氷に遭つたに拘はらず 重大轉換期來る

一赤龍 二百三十萬 沿岸波業者の 一赤龍 二百三十萬 沿岸波業者の 一打破事 ものき見られる、歯ほ右の沖獲豊漁の傾向は蔣来一層敵しくなることの助に終れて非漁業はこの動に終

栗車段を附與する管である。彰し、金品着しくは短期間

間は聴談會の名集日及名集地

下九臺

阿片魔藥中毒者

救療所官制案成る 尚一層御引立の程御願申上候 般新店舗落成仕左記へ移 轉致候間今後共 毎々格別の御引立厚く御禮申上候 & 々今

各種工業礦油 兵器手人、材料

新京入舟町二丁目五番地

金屬及實石 田中商會新京支店

店計時藤

点。 臨時政策

鏡 臺 世帶道具が揃ひました!! 3

家具に敷物

品

洋

行

新京日本獨通

動から見て欣然さして入閣 観るに従来の鈴木穂栽の書 製るに従来の鈴木穂栽の書 定を属すの外はあるまいが

の完備を圖り法典の編集さ相 快つて金々其の基礎を確立す がも多大の期待を持たる とに至つた

速成班研究員募集

鐵道警備方針 ることは出来ない

吉長、吉敦兩鐵路局 懇談會を開き决定

朝四篇

新店舗移轉御通知

時間の御都合は御便宜計ります 精養肝臓入西へ約二丁 精養肝臓入西へ約二丁

吾等

百

令官

行進順序、

出迎堵列順序

故中川

縣參

追悼會を執行

一十二日室町校で

都

其他準備成る

チ、満洲武側軍隊

全を明するこさになつてゐる

畑中將來京

○○降○承より沈る婚命律 | 一〇降○承より沈る婚命律 | 以下幕妖=第兵 | 原東) | 一多謀長 | 慢温源兵

氣分に沸き立

=

は左の如くで

+

4、降海軍高等官(登するものを除く)するものを除く)本京日本高等官

月八年八和

本高写官(除伍に列 む朝日通りを経て官邸に人る協軍隊、在編軍人、即生各國協軍隊、在編軍人、即生各國 者配置左の如くである 行進順序

警備指揮官 田代司令官 剧官を帶岡二十一日午前十一検拶のため縁高級参謀、野村 育地駐屯の第○○○関長畑中(チテハル二十一日健咸通) 断京に向つた

四年街響

兵遺骨 八重樫上等

非道の親

5

の遺骨が到着新守備除内へ一般道脚賊討伐に戦死し新邦守 先づ安置される **中朝新京**着

怪し 他殺の訴

十分。平田少路は同三寺三十五分、坂本、井上各部隊長は新司令官で同車入名部隊長、畑中將は二十二日年前九時四十五分字伝導少將は同日午後一時四郎の施設準備中であり市民も帰つて今やその入京を待ち望んでるる、因に前線華々しい戦争を施し萬崎族を張り廻らして新司令官の入京を歓迎すべく。そ気かに各地方機関に表等鏡々新京に集ることになつて居り、既に市中は歓迎の類が軍司令官菱刈大將の晴れの順都入りを目前に控へ隅東軍線下前級各部隊長

型機線域内居住備洲鴉人王某の妻王漢氏の元は他に 所し合つた婦人があつたので 妻王漢氏の死因に不審な監が あるなごご前白から1時の生 れて居た矢先奉天居住の王漢氏 氏の血族関係の者から1時の生 れご国係官廳へ訴へ出た、目 下級重なる探査が進められて 手移電なる探査が進められて

がある…

大事で働いて居る。彼女の父を頬紅に粉飾させながら稼業

直八(れ〇)は現在福岡縣八幡

後は絶対に親子の関係を絶つた。「一十一日新京署保安女は遂に二十一日新京署保安

四時候列車で開戦した、なほ事さなり、直八は二十一日午

土地入札 建設局の

彼女には四人の女

かるべき我娘を四人迄も食ひものに

した鬼の如き親

| 一男政 | 行動を自撃
せる附近住民は非常に感謝を

歳の前途ある警察官である後歌家屯の出身で當年二十五日に歌警佐は是春縣孵系四區

飲酒、

傷害と自分の放埓なる生活の爲に可愛

新京署で

の裁き

食ひ物に

された四人姉妹

闇

帰ぐ

1

同令官自6之に常り警備の高 の警備指揮官には田代憲兵隊 の警備指揮官には田代憲兵隊 の警備指揮官には田代憲兵隊

するこざになつてる

線

部

隊長らも續

々來京

百圓で同科亭に抱えられ以来の大代事吉川ハナエ(一八)されば昨年七月頃より前借千二人の

涙も

百圓で同科亭に抱えられ以来

一念に脂粉 市尾倉で飲食店を経営中であ

の別借を彼女に迫つた、然しの別借を彼女に迫つた、然し び金に刻し金銀をハナエに依をの苦痛もよそに賭博飲酒、 慎假し現在の借金でさへ町弱 頃すべく数日前来京し五白圓

たか親のは光を以つて無理押 は自分さして到底擔つて行 はないさ断乎さして飲ね付け しに押しつける爲止じなく彼 大大 (本) があるが全 (本) は (本)

本格的に活動

出售を添へ本展覧會事務所氏名を配入せる出品参加差

首都警察隊歐警佐 ばれ 萬寶山方面で敵匪を撃退 自らも敵彈に斃る 奮戰

十二百八千旦

深に終に世界新記録を出し日 手競泳大會では好記録網出し 手競泳大會では好記録網出し

「従来の世界記録は四百米自由型」 小島かづえ郷は四百米自由型 へ前畑秀平(大分三)十七秒大) への記録をの加した、東嬢

△小島かづえ骥(五分五十三 砂三)兩鑛さも名古屋椙山

・本版見可に出品せんごす ・本版見可に出品せんごす

四」

E

「従来の世界配録

間の二九米ブ

.

ei

(B

美術同人院はその後、食務者とで創立總會を開いた确別対

活動することになつたいその設備を得て意々本格的に議機がは、活動のでは、

會に於て審査の上入選した に提出すへし

あ

平泳の前畑嬢が

世界新記錄

東海道女子競泳大會で

範閣に参加を希望して居る ・ 職)彫刻の四部に分れ。新典 ・ 職別の四部に分れ。新典

品人に發送返民すへし

落選者職は十月末迄に出

出品人に於て負擔するもの於て表裝す、但し表製科は、入選審職は本會事務所に

至大同二年十月二十

見者は香、畵(東洋渦、西洋開催するこさになった。同長

優秀者には本院賞狀を授與

るものを本展覧會に除列し

小島嬢も氣を吐く

火)

二、驛骨賓室に於け

三、日本領通

最初

試作

る面接者の順序

勅任文武官(革、

用し列車到着二十分前に整列除へ申出で、所定の記章を佩

·航空司令部員

滿洲

國美術同人院

其他必要を認むるもの

4、軍司令部員 一、橋內出迎者

婦人順代表

地方側各機関

順序

沿道堵列

のこと。但し正服着用の日本

人はその限りにあらず

意兵形除

全勝の率のる二十餘名の匪順 で頑重に抵抗免戦三時間に及んだが、歐督佐は敵の間進せ んだが、歐督佐は敵の間進せ んさするをさらえんご前進中 を記せず敵を輸退し七名を射 現を上町に程告するや遂に稻

字社病院

七月開設された日本赤十字社 堂々たる新築

張して一般膀胱をも開始す 市街に建設する外、田舎に出

堂々たる病院を ハルビンの板 計画で内容外観共に完備した 場際は内外人間に非常な好評

もに西本願寺に安置され午後 に向ふ悟である 飛行機でヘルピンに到着、直 二日午前九時難の列車で飲め 遺骨は二十一日午前八時卅分 こごになつた、尚遺骨は二十 の水間江縣最事官中川勝氏の 三様より告別式が単行される

答 附 保線區動務豐田縣

▲相川ヒロ子さんは内地師選

に名譽の原死を遂けたチチーのルビン一十一日徒城通り 出で公務旅行中胆賊で交吸 出で公務旅行中胆賊で交吸 城内西大馬路丘號議洲日報配東三條橋附近で深入三名の强東三條橋附近で深入三名の强東三條橋附近で深入三名の强東三條橋附近で深入三名の强東三條橋附近で深入三名の强率に對して嚴重なる取開を積った。李は十一日午後九時四十分頃間で知合の周ヶ二名で、李は十一日午後九時四十分頃間で知合の周ヶ二名で 小學校へ寄附

生きる十三3年後五時縣内治安 工作を終へて精逸哈拉吧附近 にて匪賊のため殉職せる無龍 にて匪賊のため殉職せる無龍 にて匪賊のため殉職せる無龍 にで匪賊のため殉職せる無龍 にで匪賊のため殉職せる無龍 たが同氏の遺骨は二十二8年 たが同氏の遺骨は二十二8年

これは狂言强盗 賭博に負けた岩者

立をなしたものである 立をなしたものである 立をなしたものである

十圓を西炭場小學校父兄會へ氏は朝鮮羅南へ韓勸に際し金

新京人唯一の興戦機関である活動常校値演奏館は段備の不完全さ連築の古朽のため質局を建築の古朽のため質局を建築の古朽のため質局を連集の古代のため質局を対してあるので 御眞影奉遷

糀師を飾し

補加軍省軍務局及

第三班長海軍少將

事受以來新京總領事館に奉遷 中であつた吉林總領事館に奉 影は、既報の適り同方面か全 く安定するに至つたので二十 一日吉林總領事館より送見警 「一日音林總領事館より送見警」 中後零時三十分發列車で吉林

に恥らぬ堂々たる常紋館を析し五馬圓を投じご嗜趣の斯京

喇叭の音哀 故

督根

上等

兵の

を

送る 安東守備隊葬終る

會を開設した

四

平

街

郭家店驛

北方で

一円は1 の披露みり、午後丸時二十分儀仗兵の奏する悲しき喇叭の音は再び 教する悲しき喇叭の音は再び をする悲しき喇叭の音は再び をする悲しき喇叭の音は再び

型部央するものである 地一般競甲入札を二十一日 地一般競甲入札を二十一日 地面北側十八口。二十二日 は西北側十八口。二十二日 は西北側十八口。二十二日

領事、大野軍分會長、清水署で大村中佐、戦友代表、岡本て大村中佐、戦友代表、岡本 長、個量市民會長、個轉長、 軍務局長寺島館中将は來る九

重きに失する を説き に駁撃したる後刑の寛恕主義 の論名を選條的

八年の水刑は

た八年の求刑は重きに失すた八年の求刑は重きに失すた。此の計事は海軍側の立た。此の計事は海軍側の立た。此の計事は海軍側の立た。此の計事は海軍側の立た。此の計事は海軍側の立た。此の計事は海軍側の立た八年の求刑は重きに失す

本年 第級主義こそ我園法の大原 東京の主述べれて開題書籍で 主動意識別の規定を適用す できここを力説し九ク月乃 至二年九ク月を安富さ零へ るさ述べ次いで開題料護士 は檢察官の求刑八辛は三年 以上十五年以下の中から採 つた量別でこれを九ク月乃 至二年九ヶ月に振り常でて 見るさ一年十一ヶ月ごなり 電監執行猶豫を付するここ 害を與へた模様である

中川博士の辯論

之を昨年同月に比すれば乗車 十九萬一千八百二十四人二百七 食物キロトン数八周八千六百 八十瓩、一千十萬五千圓増加 である

新京の兩常設館 断然モダン

階下はいづれも椅子席に 思切つた模様變へ

る、なほ長春座も近く現代的 出入に簡便な6しむる幣であ 内地式に四人詰長椅子を設置 平方米、三層二白八十七平方 平方米、三層二十八十一平方米、二階三百七十一十一平方米、二階三百七十一 中方米、二階三百七十一 中方米、三階二白八十七平方 月一日附を以つて練習艦隊司の会官に様せらると結果、左の脚半省軍務局長 補無腎體驗司令官 海海軍軍令部出仕**海軍軍令部** 寺島 佐

は十八日より開始されたが、安東地力委員選挙人名簿閲覧

地方委員選舉 有權者名簿經覽

安

百武 瀬吾 名増加してゐる內譯左の如し 三千四百三十四名に對し三千 五百五十八名さなり白二十四 其他 一 で三五 場別人 一 一、三一五 は人 個人

中將の呼び至が高い 少將、腋順要港部司令官津田靜技理廠順要港部司令官津田靜技 尚は軍令部第三班長の後任は 古賀峰一 「安東登」十七日紅族街附近の計画戦で壯烈なる戦死を遂の十九九男仏長は遺骨さなつて十九九男仏長は遺骨さなつて十九カ男仏長は遺骨さなつて十九日年後11時十分管列車で悲しき凱戦をなした 故牛丸伍長の凱旋

民會開設

では日本人の増加に伴る富錦では日本人の増加に伴る富錦では日本人の増加に伴る富錦では日本人の増加に伴る富錦では日本人の増加に伴 政治氏を背長さして日本哲智 神田一朝係各方側を挨拶に歴 大程は夢日根理事金東晩。同 女程は夢日根理事金東晩。同 女程は夢日根理事金東晩。同 女程は夢日根理事金東晩。同 女祖は夢日根理事金東晩。同

がさせ

▲精養軒のノブチ、近頭フーさんさいふ好きな人をつくた そうだそれ故に明らかになっ たり、憂欝になったり、高熱 たり、憂欝になったり、高熱

傷六を出し版圏にも多大の損 線線對では名譽の戦死四、負 線線對では名譽の戦死四、負 祭練對では名譽の戦死四、負 界である撃家店驛北方的十大個中職が同縣第三、第四區境局是並に同警察大隊長の率ゆる第二、五、七、迫嚴砲隊の四名第二、第四區境 警察除奮戰

町正申込 たの通り配事 申込たの通り記事

害沙汰で関する記事は事實情紙昭を八年八月二十一戦第一二前要ちやんが常に醜い街 溶被下度候昭利八年八月二 全文仰掲載の上右配事仰取 さ相違の點有乙候に付此の

おい菓子を安心して買いる店

本年は非常時に勃み也の非常の決心を以てせざる可から中で考へらではれるか変しく之に臨党事件なる故変しく之に臨党事件なる故変しく之に臨党事件なる故変しく之に臨党事件なる故変しく之に臨

新する辯論に於て中川博士は の五。一五事件陸軍側被告に 起つ

隅尚辯護士

き閉じた

さ述べ

「東京世一日發展通」 開論第二日は世一日午前八時 開始第二日は世一日午前八時 開始第二日は世一日午前八時 開始第二日は世一日午前八時 開始第二日は世一日午前八時 開始第二日は世一日午前八時 一世界の有力者にして医るが下 を言刑の量定に差異の生か を言刑の量定に差異の生か を言刑の量定に差異の生か を言刑の量定に差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の量でに差異の生か を言刑の者にして民間被 を言刑の者にして民間被 を言形の表でに差異の生か を言形の表でに差異の生か を言形の表でに差異の生か を言形の表でに差異の生か を言形の表でに差異の生か

警察隊で共同して活躍してる政治工作の貸出動中であった政治工作の貸出動中であった。済祉

出品人に於て

福州胡美術同人院展覧者事 ものさす(新京文教部内 ものさす(新京文教部内

十日午後四時頃質山東方四支下六名を率るて情報蒐集中二 人養佐は那 里西拉々屯村北高県畑で田竹

1 177

比較增減 增七、吴二、一七音 北西、四部一人

本年 六二、四六・キョトン本年 六二、四六・キョトン 二字、四三、七六山 四三、七六山 四三、七六山 四三、七八山 田 一、八八小山 七四三三山 一、八八小山 七四三三山

武谷水城述

なは難勇会に奉じ、以て天壌 改育勅語の中に、一日観念あ の講習終りて後ち、講習員の教育勅語の擁護が濟み、常日教育勅語の擁護が濟み、常日 此の動物語の中に、人民のこ さは一言学句も見えて氏ませ 人民の方は何うなるので 見なりしも、之に就ては熱心部の影生だけは之を隨無利さ 機長も、それは望む職なるも、 不在なりしかば、南次官(今一人の反對者無く、折範大臣 の題信大臣)に前の 授を歴訪して意見を叩きしに を統括して刺す處無き、 絶対 出草木嶋土は勿論、天朔八紘 出の中には、人民は愚か、山 上の「スメル」、スベル」なる 的の相貌を抱き難して居る邸

は「スメラモコト

発揮しつもあるのは、お互ひ 「國婦の歌」

合唱、愛刺熱を鼓吹してゐた は、會員各種の會合に於て。 たれまで「銃後の花」の歌を 愛國行進曲 即を洞じくわれる又 お身らが屍の山を踏む お身らが屍の山を踏む

少し不敢を打たれな形であつありますかき問ふた、親節は

まかさの意見であった

に於て後日に採用されたる 結局此の建議は、或ら範圍

式の結果は殆ご有名無質

制定

版をは長き三千歳を でや護らん同胞よりでや護らん同胞よりでや護らん同かでがり でも関う帯がり でも関う帯がり 業移民質行に就て、講習 務聽是選聯柳作氏を語る、朝 飲小說,經濟的則防問題。金別

統治の再吟味。海外情報。



トラ

知識ある外波の単者であつた **告る、若し此の質問者が相當** よ其の事實を解前に物語つて

内に印度哲學の講座はある。

今同久我莊多郎氏の手によつ愛端耿を考案中であつたが。

「朝防婦人の歌」が作詞す

曲にて勇

さいふ見地から、早くより

自述の歌は行進的でな

しようか、東京帝國大學 駅たろ皇道教育さでも申

、我が特種なる立刻

れてあるのに、獨り此の根

お許しを蒙む、単見の一端を泉崎臣民の一員さして習らく

者では有ませぬ。 去りながら

まだ充分に徹底して民力で云

の時より養成せられた所謂が

たるものあるは。

被等幼少

を捧讀し居る教育界にさへ、現竟勅語の意義が日常之

日支那青年の排日が、顔る牢に終つたのは遺憾である、今

きも分に安ずれば吉病注意一白の人 淺慮事を過つべ 一黒の人 天馬空を駆るの べし盗難病厄急往撃 E O 四〇 -t

に帝嗣警音器會社より世間に 第四師國司令部翰由上中佐覇 第四師國司令部翰由上中佐覇

辰を已を炎か吉

ム。諸君が御承知の切く、此 輝された結果に外ならぬさ思 はな。 極て小さい真難に解 6 「息」の字を單に 前の質問の如きは 我莊多耶氏作師、岩橋茂太郎 氏作曲の「非常時日本網民歌」 國防婦人の歌

皇道と王道

即ち宇宙を包括し八紘を統治人間玲瓏さして透緻せざる處大空の時期さして透緻せざる處 ~」即な登みわたりたる此のの皇の字は我が古語の「スメ 取線 選里を行くものを 身を切る風の砂を捲き がある。 われ等何をか怖るべa なたで安らな心なし 。をみなは弱しさ誰がいよ れ等何をか默すべき

紅の血潮はまごころぞ こ、立てよ進めま丈夫よ われ等鉄後の花さ咲き 針待つ腕を組合ひて 老若一に心せん ●八白の人、勇氣日頃に増し も成る可らず定業を守れ

●九紫の人 千慮一失の恐れ ある日金銭総談等機切べし

つて、其の正語は「ス

協無きの義にして、

天に於ける海産物、 講洲産業 空記事"動く奉天經濟事情。 泰安配工月報(八月號)士 紹

場の設立、は税問題産談會静和の解決主契税問題、継韶で 奉天加藤町三奉天附工官騎所入線稅改 正等一部 金九十餘 養に於ける軽波。蒲洲國輸出 正さ顕鋭行政の刷新 爾洲產業

できっぱです、様式を快に暮してできっぱです、なばなかにないのでまる。 これも観社の御藤と同ってきしんでゐる人には極力これが、苦しんでゐる人には極力これが、古いのでまるが、は他の変要の様に副作用もあり ◆全快の喜び

なはある密域に足を踏み入れ、 無齢の痴鸞に懸はれつひに呪はし き淋滅寒性の動脈を尋ね治療を やけましたが、排膿は少しも止ま のではましたが、排膿は少しも止ま そこでいろくの民間奏を

る黒焼を御頭ちする薬にしました焼気が最新斑明に成ぶして天によ 焼気が最新斑明に成ぶして天によ

・ 元黄の人 はばね先のより 放を生すべし普請遺作は凶 感断すれば希望成り向上す 用心あれ急ぎで願く可らず 元黄の人 特ばぬ先の杖の

のなかつた淋漓も料理の友の田鶴のなかつた淋漓も料理の友の田鶴 ◆夢の様です

のなかつた淋漓も料理の友の田蟾のなかつた淋漓も料理の友の田蟾を存んで見ましたが何ともなく仕を存んで見ましたが何ともなく仕を存んで見ましたが何ともなく仕を存んで見ましたが何ともなく仕を存んで見ましたが何ともなく仕を存んで見ましたが何ともなく仕を存んである。

黑燒製法

最新發明













黑焼で 治るか

森永ベルトライン

吉野町

0

吳

服

01

皆樣御待ちかねの!!

押げ込まれてしまひました。 ある野師に根談したところ枝魚 よく徹底師の療法を要するとの事 よく徹底師の療法を要するとの事 で、約五ヶ門穏徹院袋しました。 で、約五ヶ門穏徹院袋しました。 にくれてあると、知人が「起病」な

しい 正札の

半額品と

二割引

特

に時價暴騰を度外視

秋冬物持越品大見切の全部を提供しての大奉仕!!

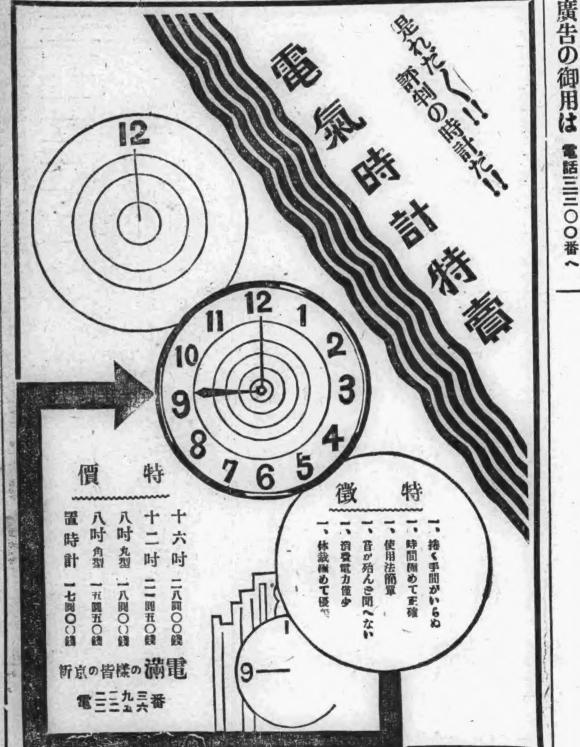


日二十二月八自 日二十二月八至 日一十三月八至

(詰橋本日京新) 店貨百京新

吳 服 部

番六七八三話





(=



新京東一條曲 |四 三宅 提 類 灯 店

早くお願ひ致します。九月十五日は新京神州秋季大祭日であり

